

令和7年度 学校経営方針（案）

調布市立調布中学校
校長 梶山 剛史

【目指す学校】「皆の笑顔が輝く、活気と潤いのある学校」←「かかわりを大切に」

豊かな自然や様々な人とのかかわりの中で、一人一人が輝き、笑顔と明るい声があふれる、明日また来たい学校

【メッセージ】「生徒の数は命と笑顔の数、調布中を最高の場所に～春風秋霜～」



【目指す生徒像】＝学校の教育目標

- ◎自ら学び深く考えよう
- ◎身体を鍛えたくましく生きよう
- ◎礼儀正しく思いやりの心をもとう
- ◎勤労を重んじ進んで奉仕しよう



【教育目標を達成するための視点と具体的方策】 ◎今年度の重点

- (1) 学習指導…磨き合い、伝え合い、学び合い＝「分かる・できる喜びが味わえる学校」
 - 学習目標の明確化
 - 基礎・基本の確実な定着
 - 週案等による計画的な授業実践
 - ◎主体的問題（発見）解決能力の育成（学び合い）…主体的・対話的で深い学びを目指す
 - 生徒・保護者による授業評価（2回）の実施
 - 授業改善推進プランの実践と検証
 - 指導法や指導形態の工夫（少人数指導）
 - 各種学力調査の結果の分析と授業改善
 - TGGでの学びを通した英語の学習意欲向上
 - ◎指導と評価の一体化
 - 体力向上
 - 情報機器の活用
 - 学校地域協働本部等と連携した各種検定試験・補習教室の実施
 - ◎特別支援教育の充実（ユニバーサルデザイン、不登校巡回指導教員、SSW等の活用）
- (2) 生活指導・進路指導…認め合い、心の通い合い、自分との向き合い＝「笑顔のあいさつと思いやり溢れる学校」
 - 思いやりキャンペーンや命と心の教育の充実
 - 望ましい勤労観・職業観等の育成
 - ◎環境による教育（清掃、掲示、挨拶、礼儀、朝読書、笑顔、教職員のチームワーク）
 - 人とのかかわりから自分も相手も大切に（人権を尊重、いじめは許さない、声かけ）
 - ◎生徒の主体性や特性を理解した指導
 - 教師の基準を明確化し生徒の可能性を信じる
 - 集団生活のルール徹底と規範意識の育成
 - 自主、自律、基本的生活習慣の徹底
 - ◎温かな生徒理解に基づき、課題を早期に発見し共通理解のもとに指導（学年担任制の導入）
- (3) 学校運営…支え合い、声のかけ合い、話し合い＝「自らの役割を意識しチームで動く学校」
 - ◎（全職員）みんなで（全生徒）みんなを」育てていく…笑顔のチーム（仲間、家族）調布中！
 - 保護者、地域の信頼に応える学年（級）経営（温かさ厳しさのバランス、認め褒め伸ばす）
 - 公務員としての自覚をもち責任を果たす（サービスの厳正、個人情報保護、人権尊重）
 - 経営参画意識とライフワークバランス
 - ◎心身の健康を大切にしてサービス事故0に
 - ◎「報・連・相・確」の徹底と迅速な対応
 - 魅力ある学校づくりの継続（不登校対策）
- (4) 特別活動・その他…かかわり合い、出会い、励まし合い＝「様々な人とのかかわりを深める学校」
 - ◎集団の中での役割意識と一人一人の活躍の場所（自分の居場所、自尊感情、達成感）
 - 生徒会活動・部活動での人とかわる活動の充実（協力や信頼の気持ち、社会性育成）
 - 奉仕、ボランティア活動の充実
 - 親身の相談（いつでも職員室、校長室にどうぞ！）
 - ◎学校公開と情報発信「見える学校」
 - ステップルームの充実
 - ◎ショートディスカッション（月1回）
- (5) 研究・研修…学び合い、高め合い、見せ合い＝「教師自らが学び続け高め合う学校」
 - ◎校内研究やOJTの充実（授業を通した研究の継続と主体的な研修による学び合い）
 - 調中研、研究発表会、教師道場、管外出張等への積極的な参加により専門性向上

